

## アンチスタティックの効果(10) (HP 収載)

### 1. 始めに

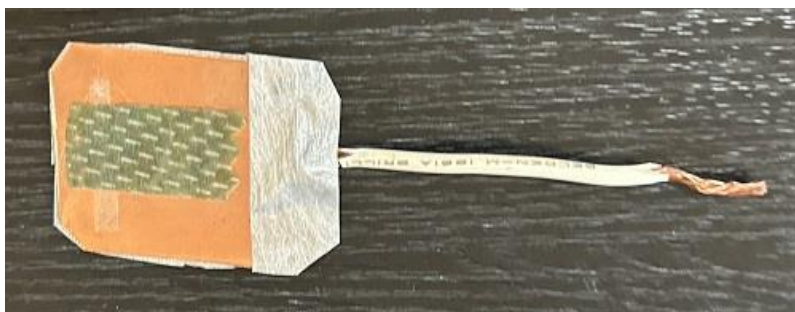
前報(9)に引き続き、本来の用途から離れ、仮想アースへの応用についてアンチスタティックの効果調べていきます。

### 2. アンチスタティックの試聴方法

レコードアンチスタティックの仮想アースへの応用については、次のようなものを準備しました。



銅板に Pulshut を貼ったもの(仮想アース A)



A の裏にレコードアンチスタティックを貼ったもの(仮想アース B)

また、EMT981 のアースポイントにセットしている仮想アース Crystal Ep に CD アンチスタティックに切り抜きをいれて、増設用のねじ込み箇所には挟み込んでみました。貼り付けることに対して、この場合は付け外しが容易ですし、他の仮想アースにも転用できます。



CDの再生経路は、次のとおりです。

EMT981→【バランスアナログアキュライザー】→TruPhase  
音源は下記のCDを使用します。

CD

ABC ABC-SH9800

ドボルザーク ユーモレスク  
ソフィアゾリステン

fontec focd9911

ドボルザーク 弦楽四重奏曲「アメリカ」  
アンサンブルウィーンベルリン

### 3, アンチスタティックの試聴結果

EMT981のアースポイントには仮想アース Crystal Ep をセットしていますのでこれを外しておきます。

ソフィアゾリステンでは、仮想アースなしでは、弦のざらつき感がありますが、仮想アース A では、ざらつき感が幾分解消し、弦の滑らかさが向上します。仮想アース B では、さらに弦の滑らかさが増し、コントラバスのピチカートがクリアになります。

アンサンブルウィーンベルリンでは、仮想アースなしでは木管のざらつき感がありますが、仮想アース A では、ざらつき感が幾分解消し、木管の質感が向上します。仮想アース B では、さらに木管の質感が向上し、ファゴットやホルンの明晰さが出てきます。

なお、仮想アース A と仮想アース B の比較のため、仮想アース A と同じものをももう一つ準備し、繰り返し比較試聴しました。

次に EMT981 のアースポイントには仮想アース Crystal Ep を戻し、Crystal Ep に CD アンチスタティックをプラスした場合、ソフィアゾリステンでは、Crystal Ep だけでも十分グレードの高い音質になっていますが、若干滑らかさが増し、コントラバスのピチカートの明瞭さが向上します。

アンサンブルウィーンベルリンでは、Crystal Ep だけでも十分グレードの高い音質になっていますが、若干木管楽器の質感が向上し、ファゴットやホルンの明瞭さが向上します。

なお、以上の試みは、仮想アースは、大地アースのようにアース電位を下げることはできるのか、できないのか判然としないところがあるということがあり、一方、アンチスタティックはディスクなどの帯電量を下げる効果があるとのオーディオ仲間の情報から大地アース類似の効果があるのではないかということから試みたわけです。

仮想アースの効果は、[これまでの検討経過](#)から、アースラインに乗ってくる高周波のノイズを導電損失ないしは誘電損失で減衰させると考えています。

以上の結果は、仮想アースとともに帯電量を減衰させ、大地アース的な効果が加わったこともあり得るのではないかと推測も考えられます。

#### 4. まとめ

自作仮想アースにレコードアンチスタティックを貼り付ける上乗せ効果を認めました。また、市販仮想アースに CD アンチスタティックを加える若干の上乗せ効果を認めました。いずれも仮想アースと違った役割で帯電を減衰させ、アース電位を下げることの効果もあり得るのではないかと推測しています。

以上